

調査概要

1 調査目的

本調査は、市民やサービス従事者の高齢者保健福祉や介護保険制度に対する意見やニーズを把握することにより、府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 8 期）策定のための基礎資料を得ることを目的とします。

2 調査の種類

調査種別		調査対象	配布数(件)	
			今回(R1)	前回(H28)
標本調査 (無作為抽出)	【調査】 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	・65 歳以上の市民で認定を受けていない者 ・65 歳以上の市民で要支援 1・2 の認定者	2,600 1,000 計 3,600	2,600 1,000 計 3,600
	【調査】 要支援・要介護認定者調査	認定を受けている 65 歳以上の市民で ・居宅サービス利用者 ・施設サービス利用者 ・サービス未利用者	1,800 800 600 計 3,200	1,500 500 500 計 2,500
悉皆調査	【調査】 介護保険サービス提供事業者調査	・市内で介護予防・居宅介護サービス、施設サービスを提供している全事業所	約 200	208
	【調査】 介護支援専門員調査	・市内の居宅介護支援事業所に在籍する全ての介護支援専門員	約 180	174
	【調査】 医療機関調査	・市内の医療機関（病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション）	約 400	425

3 標本調査の配布数の算出について（調査、 ）

各調査の分析単位¹ごとの母集団²から必要標本数³を求め、前回調査（H28）時の回収率を考慮して配布数を算出しました。

- 1 調査 は日常生活圏域（6 区分）、調査 は介護サービスの利用形態（3 区分）とします。
- 2 調査の対象となる集団のことです。
- 3 統計学上で、「許容誤差」、「信頼度」という 2 つの指標と母集団規模から求められる、一定の信頼性のある回答結果を得るために必要な標本（サンプル）数のことです。本調査では、市政世論調査や他の公的統計で採用されている、許容誤差 5%・信頼度 95%を採用しました。

< 表 1 必要標本数早見表 >

母集団数（人）	1,000	1,410	2,888	5,000	6,995	10,000	100,000
必要標本数（人）	278	303	340	357	365	370	383

(1) 調査 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

分析単位（6区分）	必要標本数（人）	目標回収率（％）	配布数（件）	
	a	b	c = a / b	
第一地区	400	0.760	526	600
第二地区	400	0.760	526	600
第三地区	400	0.760	526	600
第四地区	400	0.760	526	600
第五地区	400	0.760	526	600
第六地区	400	0.760	526	600
計	2,400		3,600	

厚生労働省から、必要標本数「400」の指定がありましたので、前頁「表 1」の限りではありません。

配布数 3,600 件の内訳は、前回調査（H28）と同一規模となる、「65 歳以上の市民で認定を受けていない者（2,600 件）」と「65 歳以上の市民で要支援 1・2 の認定者（1,000 件）」とします。

(2) 調査 要支援・要介護認定者調査

分析単位(3区分)	母集団(人)	必要標本数(件)	目標回収率(%)	配布数(件)	
		a	b	c = a / b	
居宅サービス利用者	6,995	365	0.659	554	600 → 600 * 3 = 1,800
施設サービス利用者	1,410	303	0.416	728	800
サービス未利用者	2,888	340	0.612	556	600
計	11,293			3,200	

令和元年 6 月末時点

「居宅サービス利用者」については、「要支援・軽度・中重度」の 3 段階の認定度合別でクロス集計を実施したいため、配布数を 3 倍し「1,800」とします。

4 調査期間

(1) 調査 ～

令和元年 10 月 11 日(金)～10 月 28 日(月)

(2) 調査

令和元年 11 月～12 月(予定)

このたび、厚生労働省から必須設問を追加する可能性があることが示されました。これにより調査票の確定が遅れるため、調査実施についても当初予定から遅れることとなりますが、厚生労働省から提示（本年秋頃）され次第、速やかに調査票を確定し、調査実施することとします。

5 調査方法

郵送配布(郵送回収法)

調査期間中に礼状兼督促はがきを 1 回送付

6 前回協議会(R1.7.11)からの変更点

(1) 委員意見への対応…別紙「資料3」のとおり

(2) その他

- ・ 調査 、 の表紙に、調査基準日及び調査人数を記載しました。
- ・ 調査 、 、 の回答者の性別記載欄において、男女共同参画に関する意識調査(H30.9 実施)を参考に、注釈を追記しました。
- ・ 調査 の問 43 及び調査 の問 20 において、選択肢に「ほとんど交流はないが顔を見れば近所の人だとわかる人がいる」等を追加しました。
- ・ 調査 の問 45 において、選択肢を高齢者の方に関するものみに整理するとともに、「 -1」として、過去の手助けの事例に関する解答欄を追加しました。
- ・ 調査 の問 21 において、調査対象者が認定者であることから「手助けできること」を削除し、「手助けしてほしいこと」に特化した設問方式に変更しました。
- ・ 調査 の問 9 において、選択肢に「介護医療院（介護療養型医療施設）」を追加しました。
- ・ 調査 の問 33-1 として、「自立支援に向けて工夫していること」に関する設問を追加しました。
- ・ 調査 の調査名を、「医療関係者調査」から「医療機関調査」へ変更しました。